

ジャパンミニデイ GPR c7(カテゴリー7) 参加申込書

申込日 年 月 日

申 込 者 (ドライバー)			
フリガナ		生年月日	年齢(申込時点)
氏名		年 月 日	満 歳
住所	〒		
電話		携帯	
メールアドレス	@		

車 両 デ ータ	チーム名	
	年式	西暦
	排気量	CC
	車種	
	ゼッケンNo.	

参加誓約書

年 月 日

私(私たち)は、本競技会規則、国際スポーツ法典、国内競技規則、国内競技車両規則の諸規則に同意します。また協議参加にあたり、関連して起こった死亡、負傷、その他の事故で私(私たち)自身の受けた、また相手方に与えた損害については決して主催者、大会役員、係員、雇用者、並びに他の競技者に対して非難したり、責任を追及したりせず、私(私たち)の責任において処理します。事故が主催者または大会役員の手違い等に起因した場合であっても変わりません。またドライバーは本競技について標準能力を持っている事、並びに参加車両についても競技が可能である事を保証します。また本大会の録画、録音、撮影、放送等の権限は、主催者側にある事を承認いたします。ここに証明捺印して誓約致します。

※ ドライバーが20歳未満の場合は、その親又は保護者の本誓約についての副署名を必要とします。

ジャパン ミニデイ 大会実行委員会殿

ドライバー署名

印

保護者署名

印

ジャパン ミニデイ 車輛申告書

開催場所	筑波サーキット	開催日時	年 4 月 2 9 日	ゼッケン	事務局	希望
参加競技		クラス				
エントリー名 (チーム名)						
車輛メーカー		車名				
年式		排気量	CC			
使用タイヤ						

対象 (チェック項目)		備考	対象 (チェック項目)		備考
エンジン系	✓		サスペンション系	✓	
エンジンブロック(型式)変更			サスペンションFスプリング変更		
エンジン換装		異なる形式エンジン	サスペンションRスプリング変更		
ヘッド変更(ポート加工含む)			サスペンションアーム変更		材質/形状等
コンピュータ(ROM)変更			サスペンション型式変更		型式/数量
カムシャフト変更			ストラットタワーバー		ロアバー、トランプバー等も含む
コンロッド変更			ストラット取付け位置変更/強化		ストラット取付け位置補強、可変化等
ハイカム装着			ダンパー 銘柄変更		
過給器取り付け			ダンパー 数量変更		
エンジン形式			ダンパー 型式変更		
気筒		ボア mm/ストローク mm	スタビライザー追加		
その他			スタビライザー径変更		
吸排気系			スタビライザー取付け位置等変更		
キャブ・インジェクション			アーム形状変更		スプリング形式変更
インジェクタ数量変更			キャンバー・キャスト調整機構の追加		
キャブ数量変更			タイヤ系		
キャブ口径、銘柄変更			ホイール径変更		
6連スロットル			ホイール幅変更		
ホットワイヤー			スペーサー		
エアクリーナー変更/取り外し			タイヤサイズ トレッド幅変更		
インテークマニホールド変更			タイヤサイズ 径変更		
エキゾーストマニホールド変更			ラジアルタイヤ装着		
マフラー変更A		車検対応	Sタイヤ装着		
マフラー変更B		車検非対応	スリックタイヤ装着		
点火系			ボディ系		
フルトラ/CDI等点火系変			ダッシュボード/内装変更		取り外し等
ツインプラグ化			シート変更		ドライバーズシート以外のシートの取り外し
プラグコード			ステアリングホイール変更		エアバックを取り外すことが望ましい
冷却系			ステアリングギア比変更		
ラジエーター変更(材質/形状等)			エアロパーツA		車検対応
オイルクーラー追加			エアロパーツB		車検非対応
駆動系			ボディ加工		冷却等の為の穴開け等
クラッチ変更(強化/多板化等)			ボディ加工		大規模なサイズ変更
ミッション 段数変更		5速→6速、4速→5速	ボディ材質変更		
ミッション レシオ変更			オーバーフェンダー		
ミッション 変速方法変更		AT→MT、シーケンシャル化等	アクリルウィンドウ化		変更箇所/
デファレンシャルギア ギア比変更			ピロウボール		
デファレンシャルギア 変更		LSD/ノンスリ化	重量		
制動系			安全装備		
ブレーキ型式変更		ドラム→ディスク	ロールケージ		
ブレーキ型式変更			ロールケージ(後付け)		Egルーム、トランクルームへの貫通
ブレーキ容量変更			エアバッグ取り外し		
ブレーキパッド変更			キルスイッチ装着		
ベンチレーテッド化			消火装備		
ブレーキローター変更			牽引フック(前後)		
ブレーキキャリパー変更			キャッチタンク取り付け		
			安全タンク設置		容量/

※参加申込用紙と一緒に必ず提出してください。

JAPAN MINIDAY
in TSUKUBA 29th April 2021

ジャパン ミニデイ 大会実行委員会

GPR c7 レギュレーション／ガイドライン

サーキットの入場、駐車について

- 車輛通行証は、サーキットへの入場証になっています。必ず入場前に、フロントウィンドウに貼り付けてください。
(サポートカーやトランスポーター用の駐車券も、必ず入場前に、フロントウィンドウに貼り付けてください。)
- 車輛通行証は競技車輛1枚、サポートカー／トランスポーター駐車券は1枚配布いたします。

パドックパスと駐車位置

- 競技車輛の駐車位置、および、待機位置については、エントリー種目ごとのパドック表と当日のスタッフの誘導に従ってください。
- サポートカー、トランスポーターの駐車については、北ゲート駐車場を使用して下さい。

その他

- 北ゲート駐車場でトランスポーターより競技車師の降車を含め、エンジンへの点火をご遠慮ください。周辺住民の方への騒音公害となるばかりでなく、苦情により、イベントの開催そのものが危ぶまれます。また、遠方よりお越しの方が、受付時間まで仮眠をされている場合もありますので、ご理解とご協力をお願いします。
- サーキットでは、午前8:00より走行可能という指示となっています。それ以前のエンジンの空吹かしやパドック、外周路、ゲート前スペースなどにおける走行や空吹かしを行わないようにしてください。

受付及び抽選

- エントラントは指定された時間内に、参加受理証をお持ちになって、コントロール2F(ピット上)で受付を済ませてください。
(時間は別紙タイムスケジュールで確認してください)
- 参加申込受付後、お送りする書類一式の中に、参加受理証が入っています。忘れずにお持ちください。

自動計測器(トランスポンダー)

- 計測器は、受付時にお渡しします。必ずお受け取りください。
- 競技終了後は、すみやかに計測器の返却をお願いします。また、決勝終了後15分以内の返却にご協力をお願いします。
- 万一、計測器を破損、紛失してしまった場合は実費を頂く事になりますのでお気をつけください。
- 事故などにより、ドライバー本人が返却できない場合は、メカニックやサポートクルーが責任を持って返却するようにしてください。

車両検査について

- 車両検査はタイムスケジュールにそって車検場、または、出向車検にて行ないます。検査を受けて合格しないと走行ができません。

燃料関係について

- ガソリンの搭載量の規定はありません。

レギュレーション

- グリーンフラッグレースは4クラス混走となります。クラス識別のため受付時に手渡されるステッカー(2枚)を、1枚はフロントガラスに、もう1枚はリアガラスかボディに貼ってください。同時に、計測機を受け取ってください。
- ステッカーの色は下記の通りです。
1000アンダークラス・・・白色 1300アンダークラス・・・赤色 1500アンダークラス・・・緑色 1500オーバークラス・・・黒色
- 表彰式について
エントリー台数の少ないクラスは3位までの表彰ができない場合があります。

検査の為に準備箇所

- ライト、レンズ類へのテーピング(ライトリムまでテープをかける)、バッテリーのプラス端子、ブレーキシリンダーオイルケース、クラッチオイルケース、ホイールのバルンサーなどにも、テーピングしてください。ホイールバルンサーはガムテープやアルミテープを使用し、ライトやレンズ類へのテーピングは透明の幅の広いビニールテープを使用してください。テーピングのためのビニールテープやガムテープなどは、事務局でご用意しません。
- 一部車輛において、ヘッドライトなどが強化プラスチックなどで作られていますので、大きな面積になりますので、ガラスでなくとも必ずテーピングをしてください。テールレンズも同様です。これは飛散防止の意味があります。他のイベントではプラスチック類へのテーピングを省略しているから、とテーピングを拒否される方がいますが、その場合、出走を認めることができません。
- ゼッケンは左右のドアと、ボンネット、リア(小さくても可)に、ビニールテープで4辺を確実に貼付けてください。他のゼッケンが貼付けてある場合は、見えないようにカバーをしてください。
- 走行が雨天の場合はライトオンの指示が出ます。ライト類へのテーピングを、透明のビニールテープにする必要があります。

ゼッケン登録について

- 先着順にて各クラス共、希望のゼッケンナンバーを登録することができます。
- 希望ゼッケンナンバー、チーム名がすでに登録されている場合は、他のナンバー、チーム名へ変更して頂くことがあります。
- ジャパンミニデイ以外のサーキットイベントなどで、長年使用されているゼッケンナンバーやチーム名をお持ちの場合でも、ジャパンミニデイの中では、あくまでも先着登録となりますので、ご了承ください。
- 混走耐久の場合、登録ゼッケンはミニのチームを優先とさせていただきます。混走などで登録ゼッケンが使用できない場合があります。その場合は事務局でゼッケンをご用意いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

ゼッケン製作について

- 登録ゼッケンはご自身での制作となります。事務局では用意しませんので、ご注意ください。
- ゼッケン制作をする場合は、縦50センチ以上、横50センチ以上の白色のゼッケンサークル内に納め、その中で可読性を考慮した上で、最大の大きさの算数字を用意してください。算数字の太さは3センチ以上でお願いします。

ドライバーの心得

- ドライバースブリーフィングには、登録ドライバーが必ず出席してください。ブリーフィングにはサーキットを安全に走る上で、絶対必要な項目が含まれます。不参加の場合、出走が認められない場合があります。
- 体調が優れないなどの場合は無理をせず、リタイヤをする勇気を持つことが大切です。
- ドライバーはフラッグの色と意味を、記憶、理解している事が必要です。フラッグの色と意味を記憶、理解されていない方の走行はお受けすることができません。
- ドライバーは、走行中にアクシデントなどが発生した状況などを想定し、対応方法や脱出方法などをイメージトレーニングするよう心掛けてください。

服装

- ドライバーの服装は、2レイヤー以上のレーシングスーツ、グローブ、シューズを強く推奨します。
- ノーメックスなどの耐火性のアンダーウェアの着用を強く推奨します。ジェット型ヘルメットを使用の方はフェイスマスクの着用が望ましい。
- 筑波サーキットにおいては、練習会以外の走行時はレーシングスーツの着用が必要です。シングルレイヤーでも可。

出走前説明の会場について(ドライバースブリーフィング)

- ブリーフィングルーム、または、ブリーフィング会場にて行ないます。ドライバー、チーム監督は必ず出席をしてください。

ピットレーン制限速度について

- ピットレーンを走行する競技車輛の制限速度は、筑波サーキットは40Km/h以下とします。速度超過の場合は、ペナルティの対象になります。

ピットレーン進入について

- ピットレーンへの進入は右ウィンカーを点滅させ、ピットレーン入口より進入します。本コースからのイエローラインカットはペナルティの対象になります。
- ピットレーンは一方通行です。特例を除き、バックをすることができません。バックギアを使用し、ピットレーンを逆走した場合、そのチームは失格となります。
- 走行路は、1番コース寄りとします。ピットゾーンへの進入の場合、ピット最近部からピットゾーンへ向かってください。
- ピットレーン・サインガード付近では、安全のため、手持ちの傘などを使用することはできません。

ピットアウトについて

- ピットアウトの際は、ピットロードエンドにいるオフィシャルに従ってください。ピットアウトして、コースへ進入した時の第1コーナーは、必ずインペタで走行してください。
- ピットアウト時、特例をのぞき押しがけはできません。

ピットガレージ内について

- ピットは共有です。譲り合いながら、使用してください。
- ピット内において、高音、高熱を発生する機器の使用は禁止します。
- ピット内は火気厳禁です。喫煙などは灰皿が設置されている、喫煙スペースをお願いします。
- ピット内に搬入した競技車両はキーをつけたまま、ドアをロックしないでください。

サインガードについて

- サインガード上に登ることはできません。
- サインガード、および、サインガード前のガードレールなどに腰をかけることはできません。
- サインガード、ピットレーンでは安全のため、手に持つ傘などを使用することはできません。
- サインガードにおいて、テレビモニター、パソコン、ごく省電力の照明器具以外の電器製品の使用はできません。
- サインガードエリアは火気厳禁です。食事はピットガレージ以外で。飲みものは特に認めます。
- サインガードへはお子さんの単独、ベットの、ピンヒールや7cm以上のハイヒール、サンダルなどを履かれた方の立ち入りを禁止します。
- ピットレーンを横断する際は必ず、左右の安全確認を十分に行なってください。安全確認をおこたった場合や、危険行動と判断した場合はチームに対してペナルティを課せます。

パドックについて

- パドック内において、車両テスト（ブレーキテストやウォームアップなど）は絶対に行なわないでください。全ての4輪車輛、2輪車輛は最徐行を義務とします。
- お子さんの単独での乗り物の使用は全面禁止です（キックボードやローラーシューズなども含む）。
- 大人が乗物（自転車やスクーターなど）を使用する場合、最徐行を義務とします。
- パドック内は全面火気厳禁です。喫煙は灰皿が設置してある喫煙スペースをお願いします。お料理などを行ないたい場合は、消費電力を考慮した上で、ホットプレートや電磁調理器をご使用ください。電熱器、カセットコンロ、ガスバーナー、バーベキューなどの炭火、裸火は一切使えません。
- パドック、ピットを含む施設内において、お子さんの手は保護者の方が絶対に離さないようにしてください。お子さんの行動に関する指導、責任管理は保護者の方の義務とします。パドック、ピットは競技車両が分刻みで移動をくり返します。大変危険な場所であるということを認識してください。また、お子さんに何が危険であるかを教えてあげてください。

ゴール表彰について

- フラッグタワーより、チェッカーフラッグを振動表示します。チェッカー後は全ポストで旗を静止表示します。スピードを落とすとして、ピットインしてください。チェッカーを受けた後は追い抜きは禁止です。
- ダブルチェッカーは失格になりますので、くれぐれも気をつけてください。また、オフィシャルの誘導がない場合、コースをショートカットする事はできません。
- 表彰は、各クラスとも、午後にパドック側コントロールタワー下で行います。

ペナルティについて(主催者の注意により、実行されない場合もあります。)

- 走行中、オイルの吹き出しなどにより、コースを汚すなど、競技に影響を与えた場合。
- 車両異常、コースアウト、接触など、競技の中断をはじめ、競技に影響を与えた場合。
- フラッグ無視、または気がつかなかった場合、ダブルチェッカーを受けた場合。
- 危険走行とオフィシャルが判断したドライバーもペナルティの対象となる場合があります。
- その他、本規定書に設定されたものに違反した場合適用します。
- ペナルティを受けた方は、表彰式が終わるまで帰ることができません。

その他注意事項について

- その他の注意事項がある場合は、イベントごとのインフォメーション、または受理証で確認してください。
- タイムスケジュールはイベントごとのインフォメーション、または受理証で確認してください。
- 車両より降ろした荷物などは、各自で管理をしてください。盗難、紛失の場合、事務局、および、オフィシャルでは責任を負うことができません。イベント開催中に、盗難や事故などが発生した場合は、すみやかに事務局へ連絡をしてください。
- パドック内やコース上においての人身事故、物損事故について、事務局、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- パドックやピットレーンには、エントラントの応援の方や、小さなお子さんもいらっしゃいます。ピットレーンは制限速度を厳守し、パドックでは最徐行が義務であると心がけてください。
- お帰りの際は、ゴミなどはゴミ箱へ捨てるよう、ご協力をお願いします。
- ガードレールなどサーキットの設備に損害を与えてしまった場合、実費をいただくこととなりますので気をつけください。
- ご自宅に帰るまでがイベントです。安全運転でお帰りください。

GPR c7 特別規則

作成日2018年9月15日

第1条 協議会に参加できる車両

1.ミニ量産品

第2条 参加車両の安全規定(安全上の義務付けられる事項)

1.ロールケージ

- ①6点式以上のロールケージの装着が義務付けられる。スチール製引抜鋼管。メインロールバーの曲げ部、又は溶接部から100mm以上離れた箇所に直径4mmの穴をあけその位置を黄ペイントで明示する事。
- ②運転席側にサイドバーを取り付けなければならない。
*サイドバーは、ドア開口部の1/3より高い位置であってはならない。
- ③各支柱側の車体への取り付け板は、面積60cm²・板厚2.5mm以上を有する事。
*この取付板は、支柱に溶接されていなければならない。

2.ロールケージ取り付け

- ①ロールケージ取り付け位置には補強板を車室内もしくは、車室外に付ける事。
*車室内に補強板を設ける場合は補強板を車体に溶接する事。
- ②ロールケージの取り付け板を直径8mm以上(4t以上)のボルトを3本以上使用し緩み止め効果のあるナット(ワッシャ・セルフロックング)で支柱の周辺に分散して取り付ける事。

3.座席

リアフロアは2mm以上の鉄板で強化する事。交換時のシート(レールを含む)の固定は座席の前部2箇所、後部2箇所の4箇所の支柱で安全が保てるように固定する。8mm以上のボルトを使用する事。

4.安全ベルト

ハンス義務。安全ベルトはターンバックル式フルハーネスタイプ5点以上のものを取り付けなければならない。その材質・取付方法等は、JAFシートベルト指導要項に準ずること。(プッシュバックル式は禁止)

5.燃料タンク

- ①燃料タンクは、安全タンクの使用を義務付ける。
*エア抜きにロールオーバーバルブの取り付け義務。(主催者指定 キノクニRC600IS)
*安全タンクの取り付けに伴うリヤトランク床の加工は許されるが、スペアタイヤ格納部分の床面より上に設置されていること。但し、ボディ同一素材で溶接加工する事。

6.エンジンルーム

ダッシュクロスメンバー下(運転席)に補強板を取り付け8mm以上のボルトを使用しなければならない。
*主催者が用意したプレートの取り付けが義務。

7.最低地上高

車両のひとつの側面のすべてのタイヤの空気が抜けた場合であっても車両のいかなる部分も地表に接してはならない。

8.フロア・マット

フロア・マットは取り外すこと。

9.タイヤ

タイヤは地表以外のいかなる部分と接触してはならない。

10.ウインド・シールド

- ①前面ガラスは合わせガラスでなければならない。
- ②上端からガラス面に沿って10cmの幅で幻惑防止処置を施すことは許される。

11.排気系と消音器

- ①排気は後方排気とし排気口の位置は燃料タンクの後方で最大高45cm最低高10cmとする。なお熱を帯びた排気管によって損傷を生じないように適切な防熱処置を講じなければならない。
- ②排気ガスは、排気系の末端からのみ排出する事。
- ③シャーシの部分に排気ガスの排出のために使用する事は許されない。
*排気音量規制
- ④参加車両の最大音量は測定距離3mの場合105dB以下とする。

12.オイル・キャッチ装置

ミニ競技車両すべてに、オイルキャッチタンクの装着を義務付ける。
オイルがコースに流出することを防ぐために確実な装置を備えなければならない。
装置材質は、ペットボトルやオイル缶などの暫定的なものであってはならない。
取付方法は、針金やテープなどによる暫定的なものであってはならない。
この容器にはオイルの量を確認できる透明な窓を備えなければならない。
*容積について 2L以上

13.車室

車室はエンジンルーム・ガソリンタンク・オイルタンク・ギアボックス・ドライブシャフト・バッテリー・配管の継目から完全に隔離されていなければならない。

14.サーキットブレーカー（主電源回路側閉鎖装置）

運転席からと車外から操作できる、すべての回路を遮断する各々の孤立したサーキットブレーカーを装着し、確実にエンジンを停止することができること。
その場所は、外部から容易に発見できる位置とし、赤色のスパークを底辺が最小12cmの青色の三角形で囲んだ記号で表示する事。
サーキットブレーカー車外操作部はフロントウインドシールド支持枠の下方付近である事。

15.消火装置

内容量1.5kg以上の乾性の化学消火器、又はそれと同等以上の能力を有する消火器を、速やかに操作できる状態で車室内に搭載しなければならない。

16.けん引用穴あきブラケット

前後装着、義務付け。ベルトタイプ可。
車両をけん引して移動するのに取り付け部分も含め十分な強度を有し、砂地に停車した時でも使用可能な位置に取り付けられなければならない。けん引穴あきブラケットは下記の条件を満たすこと。

- ①最小内径50mm
- ②内径の角部はRを付けて滑らかにする事。
- ③金属板製の場合、最小断面積1cm²以上（取付も含む）
- ④金属製丸棒の場合は最小直径10φ以上。
- ⑤黄色、オレンジ色あるいは赤色に塗装されていること。
- ⑥リアのけん引フックも十分な強度で取り付けする事。
- ⑦トーイングストラップ可

17.駐車ブレーキ

駐車ブレーキ装置は左右同時に作動する事。

18.配管及び配線

全ての配管・配線は暫定的なものであってはならず、グロメット・コネクター・クランプなどを含め十分安全性の高いものにしなければならない。

19.ライト

ライト類のガラスは飛散防止対策をすること。

20.ファスナー(締め金具)の追加

フロント及びリアボンネットトランクリッドには少なくとも2個のファスナーを取付、もとの締め金具が作動しないようにすること。

21.内張り

天井の内張りは取り外さなければならない。ドア内張りは必要。

22.燃料

ガソリンに添加物を混入することは禁止する。

23.安全でない車両

改造および付加物取付などにより技術委員長が安全でないと判断した場合、その指示に従わなければならない。

GPR c7 特別車両規則

2020年3月2日

レギュレーション厳守の上下記指定部品の加工及び項目外の改良を無制限とする。

クランクシャフト・コンロッド	純正EN16クランクシャフト使用。I2HA+純正コンロッド使用。	
ピストン及びボアサイズ	アルミ鋳造ピストン使用。最大+0.04インチまで。	
排気量	ピストンクリアランスを含む1315ccまで	
シリンダーヘッド	純正ヘッド使用。エキゾーストバルブ最大29.2mm	
ロッカーアーム	純正シンタードタイプ使用。	
マフラー	排気口は燃料タンク後方である事。105dB以下。	
点火系	キャブレター車 59D、65Dデスビ使用。同時点火・ECU点火不可。	
	インジェクション車 純正ECU使用。	サブコン コンピューター可
トランスミッション	シーケンシャル、5速不可。	
燃料系	キャブレター車 WEBER45DCOE使用。	
	インジェクション車 純正コンピューター・ノーマルインジェクター使用、シングルポイントインジェクションである事。	サブコン コンピューター可
デファレンシャル	オープンデフ使用。	ドロップギア でのギア比調整可
ラバーコーン・サスペンション	純正形状サブフレーム使用。コイルスプリング不可。	
ブレーキ	4ポッドキャリパー使用。12インチ用ドライビングフランジ使用。駐車ブレーキは左右同時に作動すること。	
タイヤ	ADVAN 032R使用。	165-70-10
ボディ	純正ドアパネル使用。主催者指定のゼッケン、スクリーンシェイド装着の事。 *ボディ原形・強度を極端に損なわないこと。	
ボンネット・トランク	脱着式は4ヶ所、開閉式は2ヶ所のファスナー取付。	
オーバーフェンダー	主催者指定の物のみ使用。	
ウィンド材質	フロントは合わせガラス使用。	
車室	エンジンルーム・ガソリントank・オイルタンク・ギアボックス・バッテリー及び配管の継ぎ目等から完全に隔離されていなければならない。	
エンジンルーム	フライホイールハウジング裏に主催者指定の保護プレートを取り付ける事。 *取付図参照	
シート	リアフロアは2mm以上の鉄板で補強する事。取付ボルトは8mm以上使用。	

内装	左右ドア内張り取付。天張は取り外すこと。	
シートベルト	ターンバックル式5点以上、ハンス義務。	
ロールケージ	スチール製引抜鋼管(外径38φ、肉厚2mm以上)6点以上義務。ドライバー側サイドバー義務。メインロールバーに4mm穴1ヶ所、黄ペイント(曲げ部、溶接部から100mm以上離す)	
ガソリントank	FIA、JAF公認。JMSA、MiniJackが認めた安全タンク使用。主催者指定のロールオーバーバルブ取り付け義務。(キノクニ RC600IS)	
燃料	ガソリンに添加物の混入を禁止する。	
オイルキャッチタンク	2L以上義務。ペットボトル・オイル缶等暫定的なもの不可。	
サーキットブレーカー	取り付け義務。	
消火器	内容量1.5kg以上必要。	
バッテリー	移動可。室内に移動の場合はケースに入れる事。確実な固定とターミナル絶縁する事。	
ブレーキ、クラッチマスター	キャップのテーピングなどフルードが漏れないようにする事。	
牽引フック	前後必要。ベルトタイプ可。	
車両最低重量	ドライバー含め660kg。タンク内ガソリンは5ℓ未満で計測。 *ボディ原形、強度を極端に損なわない軽量方法を推奨。	
バラスト	フロアにM10以上のボルト2ヶ所以上で固定。	